

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表:令和 3 年 2 月

事業所名 多機能型事業所アシストひおき

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			基準より多く配置しているが、多職種の専門性を生かして多方面より支援できるよう増員予定。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		玄関に段差があり、解消の為、足台を使用中。視覚的に理解しやすいイラスト掲示。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		リスクマネジメントを行い、環境整備(衛生管理・感染防止対策・安全配慮)を徹底。適宜、換気・消毒の実施や飛沫防止パネル設置、長机利用して壁の回避に努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティングや会議、議事録等により、全スタッフが情報共有し、適切な支援に努めている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度のアンケート実施。評価表やご意見を基に課題や改善点の話し合いを適宜行っている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開中。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、ボランティアや、来訪者を対象にアンケート実施予定。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の充実や外部研修への参加を促進し事業所内にて伝達講習を行っている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		本人・保護者や他関係者より情報を得た際は、適宜、全スタッフ間での情報共有を図り意見交換をして計画の立案に活かしている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査等の結果を共有している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドライン内容を基にした支援を設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		各スタッフが把握しやすいように個々の課題に基づく支援内容が電子記録に毎回表示される。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者が中心となり、各スタッフが意見を出し合い立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		楽しい療育を目指し、児童の意見も取り入れつつ、日々、変化を持たせている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団活動に加え、必要に応じて個別活動を行うよう計画している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングでシミュレーションを行うなど細かく確認している。	
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングやカンファレンスで反省や改善点等の意見交換をしている。		

関係機関や保護者との連携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録の漏れや誤字脱字等の確認をし合い、正確な記録に努めています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		概ね6か月に1度は見直しを行っています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健師や福祉課担当者や相談支援専門員の方々と、情報共有し支援に活かしている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			必要時、保護者や各関係機関との連携を密に図り、適切な支援や対応に努める。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			医療的ケアが必要な場合は、看護師職員が中心となり体制を整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				昨年末に開所したばかりで未だ実施していないが、今後、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていく予定。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				昨年末に開所したばかりで未だ実施していないが、今後、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていく予定。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所との連携を図り、研修参加を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		機会があれば行事やイベント等の参加を検討したい。
保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		参加し、事業所内で伝達している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		活動の内容やご様子など毎回連絡メールを送信、ご家庭の様子やご相談はLINE、メールや電話等の対応、必要時、面談を行って共通理解に努めている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		随時、ご相談に応じている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っており、不明点には、随時対応して説明をするようにしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援計画内容を説明し、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて相談支援の時間をセッティングして親身に対応するようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				3月に第1回目の保護者会を開催予定。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申入れがあった場合、担当者が迅速かつ適切に対応できる体制を整えている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPやお便り、LINE等で活動や行事予定・内容をお知らせしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		当事業所の個人情報保護に関する基本方針及び規定に基づきスタッフの周知を図り、十分に注意し取り扱っている。	

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		面談や電話・LINE・メール等を利用。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		見学は随時行っているが、事業所の行事としては無い為、今後、可能な範囲で検討する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアル策定し、スタッフの周知・訓練・マニュアルの見直しを定期的に行っている。	契約の際に保護者説明を行っている。訓練実施や内容については、放課後等デイサービス同様、お便りにてお知らせ予定。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に2回実施予定。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ご利用までに情報収集やカンファレンスをして把握に努めている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		必要時掲示し、確実に把握し確認できるよう努めている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を提出し、事業所内で共有して再発防止に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部研修へ参加し伝達講習を実施するなど、適宜、事業所内研修を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		事前に十分な説明を行い、必要に応じて同意書をいただくようにしている。	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表:令和 3年 2 月

事業所名 多機能型事業所 アシストひおき

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2			1		基準より多く配置しており、個別の対応も出ています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2				1	ひと目でわかるように掲示するなどしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3					
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	3					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2				1	個々の計画に沿って支援をしております。毎回、個別に連絡メールの送信を行っておりますので、ご不明な点がございましたらお気軽にお尋ねください。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	2				1	日々の集団活動に加え、個々に応じて変化を持たせています。連絡メールをご確認ください。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2				1	保育園に行っているので交流があります。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	2				1	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	1				2	随時、ご相談をお受けしますので、お声掛けください。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				1	2	今後、保護者のご意見を伺いながら検討してまいります。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3						

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2			1	ホームページや毎月のお便りで発信しておりますので、ご覧ください。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2			1	当事業所の個人情報保護に関する基本方針及び規定に基づき十分に注意し取り扱っております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。				3	マニュアルは契約の際に説明しておりますが、訓練等実施にしましては放課後等デイサービス同様、お便りにてお知らせ致します。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			1	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2	1			・アシストの日を楽しみにしています。 ・行くまでが大変ですが、行ったら楽しいようです。 楽しく取り組める療育を目指してまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	2	1			・気持ちに寄り添ってもらいありがとうございます。 ・通い始めて断然違います。ありがとうございます。 昨年末に開所したばかりですが、より良いサービスの提供ができるよう日々努力いたします。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 3年 2月

事業所名 多機能型事業所 アシストひおき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			配置基準を満たしているが、今後、更に増員予定。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関に段差があり、足台にて対処。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ス、議事録等により、随時、情報共有し、適切な支援に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度のアンケート実施。保護者との連絡体制はできており、ご意見やご意向を療育活動の参考にしております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	○		今後、ボランティアや、来訪者を対象にアンケート実施予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の充実や外部研修への参加を促進している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		本人・保護者や他関係者より情報を得た際は、適宜、カンファレンス等で情報共有を行い意見交換をして計画の立案に活かしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査の結果を共有している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者が中心となり、各スタッフが意見を出し合い立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童の意見も取り入れつつ、日々、変化をもたせている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		時間配分を考慮しながら個々に応じて充実した活動内容の設定に努めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団活動に加え、必要に応じて個別活動を行うよう計画している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングでシミュレーションを行うなど細かく確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングやカンファレンスで反省や改善点等の意見交換をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録の漏れや誤字脱字等の確認をし合い、正確な記録に努めている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		概ね6か月に1度、見直しを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドライン内容を基にした活動・支援を実施している。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		主に、保護者を通じて情報を得ているが、必要に応じて学校との情報共有や連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な場合は、看護師職員が中心となり体制を整えている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて行うよう努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		未だ対象児童がない為、今後、移行の際には情報提供を行う予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修や連絡会への参加をしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		交流幅を広げて機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加し、事業所内伝達を行っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		ご家庭からは、LINE・メールや電話等対応し、適宜、面談を行っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		随時、ご相談に応じている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っており、不明点には、随時対応して説明をするようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談支援の時間をセッティングして親身に対応するようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後、保護者のご意見を伺いながら検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情の際には、窓口・解決担当者につなげ、迅速・適切に対応するよう努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPやお便り、LINE等で活動や行事予定・内容をお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		する基本方針及び規定に基づきスタッフの周知を図り、十分に注意し取り扱っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		分かりやすい説明に心がけ、電話・LINE・メール等を利用。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		見学は随時行っているが、事業所の行事としてはない為、今後、可能な範囲で検討する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアル策定し、スタッフの周知・訓練・マニュアルの見直しを定期的に行っている。	契約の際に保護者説明を行っており、訓練実施や内容については、お便りにてお知らせをしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部研修へ参加し伝達講習を実施するなど、適宜、事業所内研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		事前に十分な説明を行い、必要に応じて同意書をいただくようになっている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		必要時掲示し、確実に把握し確認できるよう努めている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を提出し、事業所内で共有して再発防止に努めている。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 3年 2月

事業所名 多機能型事業所 アシストひおき

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9						
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7			2		基準より多く配置しており、個別の対応も出ています。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			2		玄関に段差があり、足台を設けております。必要時、スロープ設置や職員配置をします。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9						
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8			1		日々、変化を持たせています。連絡メールをご確認ください。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6			3		感染防止対策を徹底し、可能な範囲で検討いたします。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9						
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9						
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9						
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			4	1	4	コロナの件もあり、難しいところかと思えます。	今後、保護者のご意見を伺いながら検討してまいります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7				2		苦情受付窓口を設置しておりますので、お気軽にご相談ください。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9						
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9						
14 個人情報に十分注意しているか	8				1		当事業所の個人情報保護に関する基本方針及び規定に基づき十分に注意し取り扱っております。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8			1		契約の際に説明しておりますが、ご不明な点などございましたらお気軽にお尋ねください。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			1		年に2回は実施しており、内容や実施はお便りに掲載しておりますのでご覧ください。	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	8	1			基本、行きたくないとは言いませんが「え～」と言う時がある。	「楽しかった」との笑顔にスタッフ一同やりがいを感じております。	
	18 事業所の支援に満足しているか	8	1			・おかげ様で飛躍した年でした。 ・買い物や計算ができるようになりました。	より良いサービスの提供ができるよう努力してまいります。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせ実施されることが想定されている。